

『スマート水産業とプラットフォーム学』

～水産業がサステナブルな成長産業になるための基盤とは～

IoT・ビッグデータの利活用によって
水産業の明るい未来をどのように描けるか？SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第17回となる今回は、IoTやビッグデータ解析などを用いて進化を続ける水産業の現在と未来がテーマ。漁獲量の予測や管理など「水産物を獲る」領域から品種改良や高効率な養殖など「高付加価値な水産物を育てる」活動まで、日本の水産業が持つ各課題を解消し、未来へ向けて魅力あふれる産業へと成長していくために、テクノロジーとプラットフォームがどのように貢献し得るのかを議論します。

イベント概要

- 開催：2023年1月19日（木）
- 時間：16:45～18:45（履修生は19:15終了予定）
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーご参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要がございます。



お申し込みはこちら
(1月19日12時締切)

登壇者

梅川忠典氏 リージョナルフィッシュ株式会社 代表取締役社長

加藤英夫氏 KDDI株式会社 ソリューション事業本部 DX推進本部 地域共創室 エキスパート

原田博司教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター